



終盤戦！最後まで諦めない
チーム福岡の意地をみせる！

福岡県選手団、競合をかわして10位にランクアップ

10月9日の福岡県選手団は、柔道、弓道、アーチェリー、山岳、ハンドボール、陸上競技の6競技7種目で入賞を果たし、男女総合成績順位を大きくアップさせた。

競合する道・県の勢いが衰える中、本県には勢いがある。この勢いで一気に突き放したい。

山岳 クライミング・ボルダリング2種目で入賞



10月9日（日）、盛岡市の岩手県営運転公園山岳競技特設会場にて、山岳競技成年男子のリード競技・ボルダリング競技の決勝が行われた。まず、午前中に行われたリード競技で8位入賞を果たし、続いて午後から行われたボルダリング競技決勝に一番手で出場し、前半を3位で折り返して臨んだ後半、緒方選手が競技時間ギリギリに難易度の高い壁を登り会場を沸かせた。千葉県に敗れたものの、順位を一つ上げ準優勝を果たした。



緒方選手は、「二人で小学校から練習をやってきて、いつか一緒に国体に出場したいと言っていて実現し、2位になることができた。リードよりもボルダリングに重点をおき、二人で協力して行なうことができた。来年は、必ずリベンジしたいです。」とコメントし、名嶋選手は「緒方選手は仲間でありライバル、ずっと目標にしてきた存在だった。二人で協力して準優勝となることができた。そして、自分の自信にもなった。来年も頑張りたい。」と力強くコメントした。

ハンドボール少年女子 大健闘！4位入賞



昨日の準決勝の敗戦から一夜明け、香川県との3位決定戦。序盤、サイドシュート、カットイン、速攻などで立て続けに4失点。福岡県はタイムアウトを取り、8分に初得点をあげるも、オフェンスに精彩を欠き、最大8点差となった。諦めない福岡は、徐々にリズムを取り戻し、8対11で前半を折り返した。

後半、開始早々香川の速攻が決まるなどし、5点差に広がった11分に福岡はタイムアウトとった。22分、3点差につめたところで、香川県のタイムアウト。しかし、福岡に来た流れは変わらず、香川県の退場の間に一気に1点差までつめる。残り30秒でマイボールとなり、最後のオフェンスで、執念の攻撃をみせるも、得点には結び付かず、タイムアップ。

最後まで諦めない福岡の選手たちの執念に会場から惜しめない拍手が送られた。

試合後、監督は、「選手たちは最大の力を発揮してくれた。昨日（準決勝）の負けがあったから今日のナイスゲームができた。今日の負けも来年に必ず生きてくると思います。」と前を向いて語った。関係者の目にも、前半の点差から一時は厳しいと感じられたが、選手たちの冷静でかつ闘志溢れるプレーに感動をもたらすものであった。



【各競技入賞者】 (10月9日終了時点)				
競技名	種目	名前	所属	順位
柔道	少年男子	小西・盛坪・久保 岡野・西田		4位
弓道	少年女子近的	黒江・高橋・真崎		5位
アーチェリー	成年男子団体	前田・古賀・玉澤		5位
山岳	成年男子リード	緒方・名嶋		8位
	成年男子ボルダリング	緒方・名嶋		2位
ハンドボール	少年女子			4位
陸上	成年女子三段跳	榎見 咲智子	九電工	3位
	少年女子共通やり投	上田 百寧	中村学園女子高等学校	5位

Team 福岡の現在状況と今後の展望

10月9日終了時点での男女総合成績、福岡県は順位を3つ上げ10位に浮上した。本大会開催当初からライバルとしてマークしてきた兵庫をついに捉え、これまで本県の上位に位置していた県が軒並み順位を下げる中で、来年の開催県である愛媛が7位に食い込む健闘を見せたが、6競技7種目で入賞し兵庫・京都を交わし8位入賞に迫った。もう一つのライバルである北海道は現在9位、その差を4つ縮めてあと1つに迫った。昨日まであった約200点の差を、123点まで詰めている。これから加算される得点の傾向としては、北海道はフルエントリーの利点を活かし、ホッケーの4種別のうち3種別が5位を確定させている。これに対し、本県はバスケットボールと柔道を残している。本県は、個人競技も多く決勝進出していることから、一人一人の活躍に期待したい。

また、8日終了時点で9位の兵庫、10位の京都を逆転したものの、兵庫とは3.5点差、京都とは37.5点差しかなく、得点を取りこぼすと一気に再逆転される。千葉国体で兵庫に5点差で9位、岐阜国体では京都に16点差で同じく9位と、僅差の戦いを行ってきた。北海道・兵庫・京都に1点でも勝ることに、全力を尽くしていただきたい。

男女総合成績(天皇杯)10月9日終了時点				
順位		都道府県名	合計得点	前回大会順位
1位	➡	東京	2219.5	2位
2位	➡	埼玉	1761.5	4位
3位	➡	岩手	1614.5	16位
4位	⬆	愛知	1552.5	3位
5位	⬇	大阪	1538.0	5位
6位	⬆	千葉	1453.5	7位
7位	⬆	愛媛	1416.0	13位
8位	⬇	神奈川	1407.5	6位
9位	⬇	北海道	1332.0	9位
10位	⬆	福岡	1209.0	8位
11位	⬇	兵庫	1205.5	12位
12位	⬇	京都	1171.5	10位

国体の情報については、大会ホームページ (<http://www.iwate2016.jp/>) より、御覧ください。

【発信元】(公財)福岡県スポーツ振興センター スポーツ振興課 企画情報係